

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成29年12月28日 (2017.12.28)

【公開番号】特開2017-42607(P2017-42607A)

【公開日】平成29年3月2日 (2017.3.2)

【年通号数】公開・登録公報2017-009

【出願番号】特願2016-161382(P2016-161382)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/513 (2006.01)

A 6 1 F 13/511 (2006.01)

A 6 1 L 15/48 (2006.01)

A 6 1 L 15/34 (2006.01)

A 6 1 L 15/22 (2006.01)

B 3 2 B 5/26 (2006.01)

D 0 4 H 1/541 (2012.01)

D 0 4 H 1/559 (2012.01)

D 0 6 M 15/647 (2006.01)

D 0 6 M 13/02 (2006.01)

D 0 6 M 13/224 (2006.01)

D 0 6 M 13/08 (2006.01)

D 0 6 M 13/513 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/513 1 1 0

A 6 1 F 13/511 1 0 0

A 6 1 F 13/511 4 0 0

A 6 1 F 13/511 2 0 0

A 6 1 L 15/48 2 0 0

A 6 1 L 15/34 2 0 0

A 6 1 L 15/22 3 2 0

B 3 2 B 5/26

D 0 4 H 1/541

D 0 4 H 1/559

D 0 6 M 15/647

D 0 6 M 13/02

D 0 6 M 13/224

D 0 6 M 13/08

D 0 6 M 13/513

【手続補正書】

【提出日】平成29年11月20日 (2017.11.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無加圧条件下で 90 g の人工尿を 5 . 0 g / 秒の速度で通液させたとき、構成繊維の親水性が互いに異なる第 1 領域及び第 2 領域が厚み方向に沿って生じるようになされている

不織布であって、

第1領域は前記不織布の表面を含む領域であり、第2領域は前記不織布の厚み方向に沿って見たときに、第1領域に隣接する領域であり、

人工尿の通液後において、前記親水性を水との接触角で表したとき、第1領域の構成繊維の接触角の方が、第2領域の構成繊維の接触角よりも大きく、

人工尿の通液後において、第1領域の構成繊維の接触角と、第2領域の構成繊維の接触角との差（前者－後者）が、5度以上30度以下であり、

人工尿の通液前において、第1領域の構成繊維の接触角の方が、第2領域の構成繊維の接触角よりも大きい、不織布。

【請求項2】

無加圧条件下で90gの人工尿を5.0g/秒の速度で通液させたとき、構成繊維の親水性が互いに異なる第1領域及び第2領域が厚み方向に沿って生じるようになされている不織布であって、

第1領域は前記不織布の表面を含む領域であり、第2領域は前記不織布の厚み方向に沿って見たときに、第1領域に隣接する領域であり、

人工尿の通液後において、前記親水性を水との接触角で表したとき、第1領域の構成繊維の接触角の方が、第2領域の構成繊維の接触角よりも大きく、

人工尿の通液前において、第1領域の構成繊維の接触角は、81度以上であり、

人工尿の通液前において、第2領域の構成繊維の接触角は、75度以下であり、

人工尿の通液前において、第1領域の構成繊維の接触角の方が、第2領域の構成繊維の接触角よりも大きく、

第2領域の人工尿の通液前接触角と人工尿の通液後接触角の差が11.4度以上13.9度以下である、不織布。

【請求項3】

第1領域及び第2領域の構成繊維にそれぞれ繊維処理剤が施されており、

前記繊維処理剤に主成分が2種以上存在する場合には、いずれの主成分に着目した場合であっても、第1領域と第2領域とで、主成分が相違している請求項1又は2に記載の不織布。

【請求項4】

第1領域及び第2領域の構成繊維にそれぞれ繊維処理剤が施されており、

第2領域の構成繊維に施されている前記繊維処理剤の主成分が親水基を有するポリオルガノシロキサンである請求項1ないし3のいずれか一項に記載の不織布。

【請求項5】

第2領域の構成繊維には、第1領域の構成繊維に施されている前記繊維処理剤の主成分と異なる主成分が40質量%以上施されている請求項3又は4に記載の不織布。

【請求項6】

請求項1ないし5のいずれか一項に記載の不織布を備え、該不織布における第1領域を着用者の肌に対向するように配した吸収性物品。